

麻しん（はしか）患者との接触に関する注意喚起

～ さいたま市立病院ご利用の皆様へ ～

当院において、麻しん（はしか）の事例が確認されました。

以下の内容をご確認いただき、感染拡大防止にご協力をお願い申し上げます。

1、接触の可能性がある日時・場所

日時：2026年2月10日 9時50分頃～13時40分頃

2026年2月13日 9時50分頃～11時頃

場所：いずれも**1階受付及び会計**

2、今後の体調確認について（最長3月6日まで経過観察をお願いします。）

麻しん（はしか）の潜伏期間は、通常10～12日間（最大21日間）です。

接触した可能性がある方は、今後3週間程度、以下のような症状が無いか観察をお願いします。

- ・発熱
- ・咳、鼻水、目の充血
- ・発しん
- ・口腔内の白い斑点（コプリック班）

3、症状が出た場合の対応

- 1) 外出や公共交通機関の使用を控えてください
- 2) 受診時は事前に医療機関へ連絡してください
- 3) 他の患者さんと接触を避けるため、医療機関の指示に従ってください

【麻しん（はしか）について】

麻しん（はしか）は、空気感染を起こす非常に感染力の強いウイルス感染症です。患者さんと同じ空間にいるだけでも感染する可能性があります。感染経路は空気感染のほか、咳やくしゃみによる飛沫感染、ウイルスが付着した物に触れることによる接触感染もあります。

麻しんは感染力が非常に強く、免疫を持たない方が感染すると、ほとんどが発症します。一方で、ワクチンを2回接種している方や、過去に麻しんにかかったことがある方は、発症することはまれと考えられます。

ご自身およびご家族の予防接種歴や罹患歴を今一度ご確認ください。

※ 麻しんウイルスの空气中での生存期間は2時間以下とされています。現時点では、当院をご利用いただいても過度にご心配いただく必要はありません。

さいたま市立病院
連絡先 048-873-4111（代表）